

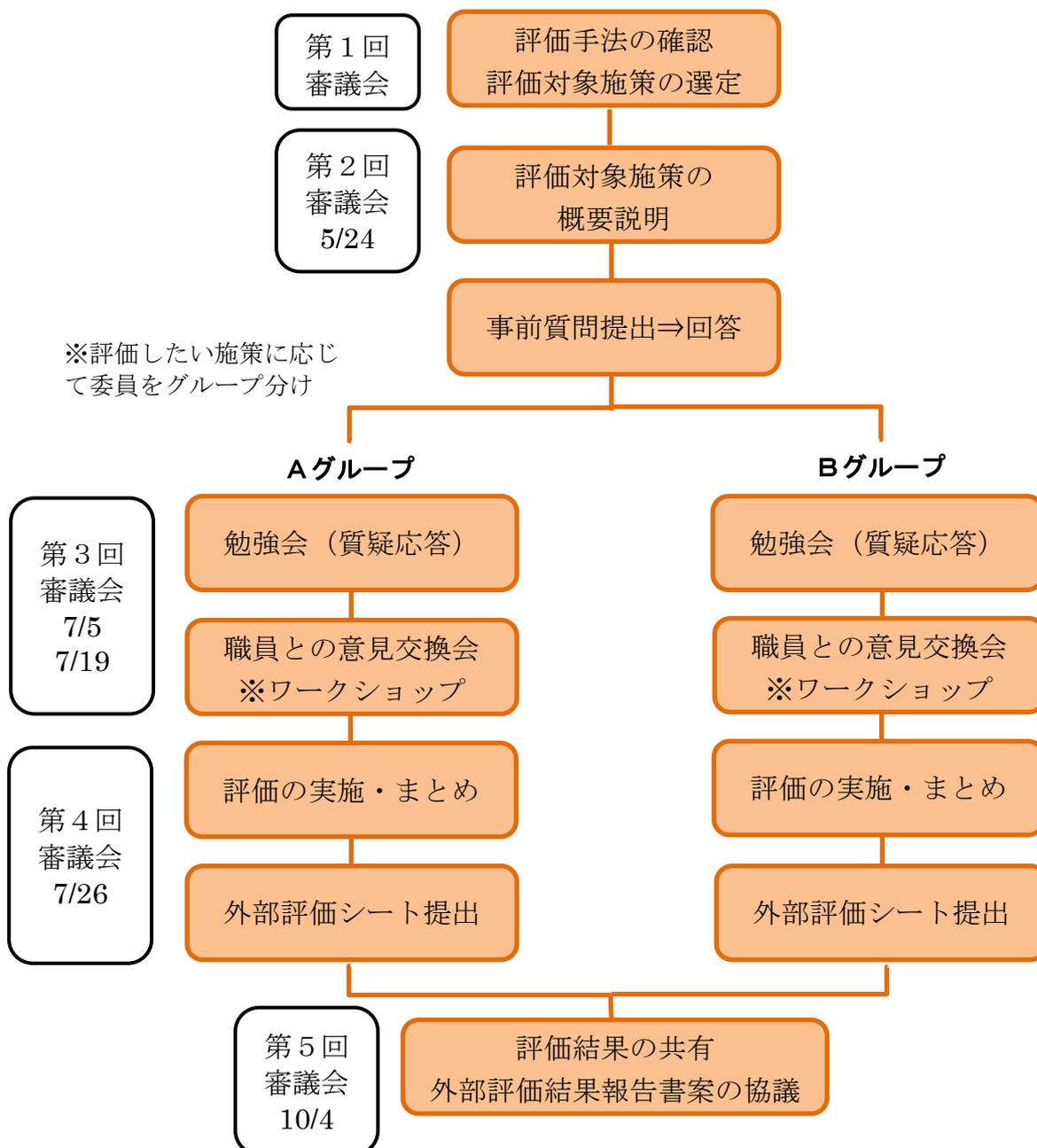
## 平成31年度の外部評価について

## 昨年度からの変更点

- ①評価の流れの見直し
- ②評価対象施策の絞り込み
- ③評価基準の細分化
- ④職員との意見交換会のテーマ設定の見直し
- ⑤評価シート・指標の充実（後期基本計画策定に合わせて検討）

## ① 評価の流れの見直し

昨年度は「勉強会（質疑応答）⇒評価」の後に「職員との意見交換会」を実施したが、職員との意見交換会は施策や事業の実情等について職員と委員が共通理解を深めるために有益であることから、職員との意見交換会を評価の前に実施する。



## ② 評価対象施策の絞り込み

### ア 基本的考え方

前期基本計画に掲げた3つの重点戦略に基づく9つの施策（戦略の柱）について、これまで平成29・30年度の2カ年かけて評価を実施してきた。

政 策	施 策	評価年度	
		H29	H30
重点戦略1 若い世代定住プロジェクト	1 ゆとりある暮らしを支えるまちづくり	○	
	2 働く場を生み出すまちづくり		○
	3 子育てしたくなるまちづくり	○	
重点戦略2 みどり活用プロジェクト	1 「魅せる農」のまちづくり	○	
	2 みどりが価値を生み出すまちづくり		○
	3 みどりがつながるまちづくり		○
重点戦略3 拠点創造プロジェクト	1 都市拠点がにぎわうまちづくり		○
	2 地域拠点がにぎわうまちづくり	○	
	3 拠点がつながるまちづくり		○

9つの施策の評価が一巡したことから、次のステップとして、評価対象施策について更に深掘した評価・審議を行い、審議会での審議を今後の取組により一層活かすことができるよう、1グループ1施策（計2施策）を選定して集中的に評価を実施する。

### イ 平成31年度評価対象施策

平成29年度に評価を実施した4施策の中から2施策を選定する。

選定に当たっては、後期基本計画の策定に向けて、達成度が低い施策、複数の分野への影響が大きい施策、今後の方向性の確認が必要な施策を優先するとともに、担当部署のバランスを考慮する。

#### 《事務局選定（案）》

①戦略1－3 子育てしたくなるまちづくり	<p>幼児教育・保育の無償化、子育て世代包括支援センターの法定化などの動向の変化、保育ニーズの高まりや子どもや家庭の状況に応じたきめ細やかな支援など、子育て支援に関して多様化する諸問題に対応していく必要がある。</p> <p>このような中、多くの指標に改善が見られず、また、子ども・子育て分野の個別計画「しろいこどもプラン（平成32年度から5年間）」を平成31年度中に策定することから、今後の方向性を審議いただくため評価対象とする。</p>
②戦略3－2 地域拠点がにぎわうまちづくり	<p>小学校区単位のまちづくり協議会の設立に向けて、平成30年度に白井第三小学校区と大山口小学校区をモデル地区として、地域担当職員を配置し、協議会の設立を支援していくこととしている。</p> <p>このような中、本取組が健康・福祉、学習・教育、地域・安心など多くの分野に関連することから、評価対象とする。</p>

《参考》平成30年度評価概要

施策 (主担当部)	施策概要	平成30年度評価概要（内部評価）	
		進捗状況等	今後の方向性
戦略1-1 ゆとりある暮らしを支えるまちづくり (都市建設部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い世代が魅力を感じるゆとりある住環境の整備</li> <li>・子ども連れで外出しやすい道路や公園などの機能整備</li> <li>・みどりや文化資源を活かした魅力ある暮らしの促進</li> </ul>	<p>《改善した指標》 2 / 5 指標 (40%)</p> <p>《進捗状況》 おおむね順調</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民自身が地域のルールづくりを進める環境づくり</li> <li>・地域の人口構成や都市機能など地域特性に応じた公園・道路の機能整備</li> </ul>
戦略1-3 子育てしたくなるまちづくり (健康子ども部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育機会の確保や子育てに係る経済的負担の軽減</li> <li>・地域で子育てを支える仕組みづくり</li> <li>・児童・生徒の個性に応じた学校教育の充実</li> </ul>	<p>《改善した指標》 2 / 7 指標 (29%)</p> <p>《進捗状況》 おおむね順調</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保育園と幼稚園の連携による保育需要への対応</li> <li>・切れ目のない子育て支援に向けた子育て世代包括支援センターの整備</li> <li>・補助教員や地域人材の活用による特色ある子育て支援</li> </ul>
戦略2-1 「魅せる農」のまちづくり (市民環境経済部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集落営農の組織化の支援や新規就農など農業の担い手づくり</li> <li>・農産物の高付加価値化・ブランド化の推進</li> <li>・駅周辺や地域での販売の場づくり</li> <li>・誰もが農に親しめる環境づくり</li> </ul>	<p>《改善した指標》 4 / 6 指標 (67%)</p> <p>《進捗状況》 おおむね順調</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担い手の育成・労働力の確保</li> <li>・市内外における農産物のPR・販売促進</li> <li>・市内小売店・飲食店における地場産農産物の販路拡大</li> <li>・農商工連携による農産物のブランド化の推進（ブランド化推進計画の策定）</li> <li>・農園開設への支援</li> </ul>
戦略3-2 地域拠点がにぎわうまちづくり (市民環境経済部)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校区単位のまちづくり協議会の設立の推進</li> <li>・各地域における居場所・交流の場、サービス提供の場づくり</li> <li>・地域資源を活かした生きがいづくり・健康づくり</li> </ul>	<p>《改善した指標》 3 / 5 指標 (60%)</p> <p>《進捗状況》 やや遅れている</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・モデル地区の選定、地域担当職員の配置などによるまちづくり協議会の設立支援</li> <li>・モデル地区での成果の横展開</li> <li>・地域活動団体の活動の見える化・共有</li> </ul>

### ③ 評価基準の細分化

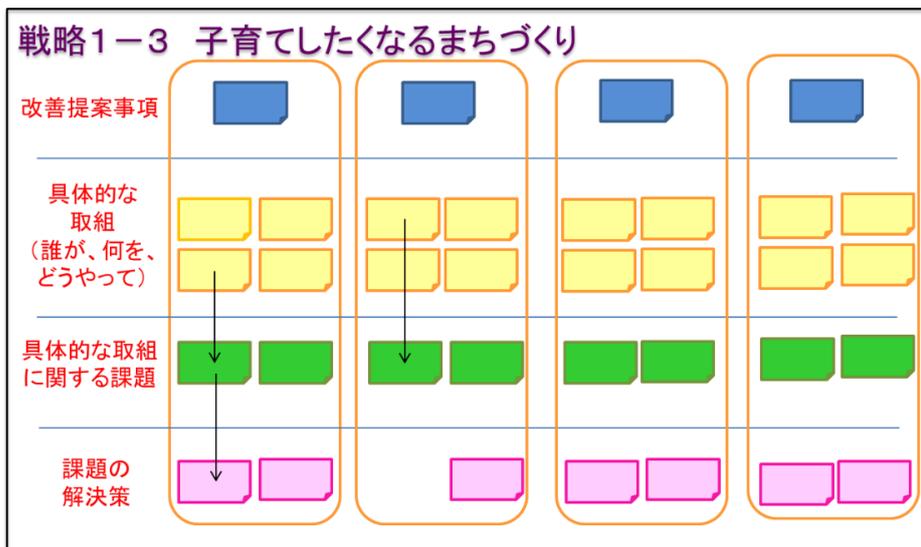
昨年度は「A・B・C・D」の4段階評価を実施したが、特にBとCの判断に苦慮する場面が見受けられたことから、BとCの間に評価基準を追加する。

【見直し前】		【見直し後】	
A	特に優れている(期待を大きく上回る)	A	特に優れている(期待を大きく上回る)
B	優れている(期待を上回る)	B	優れている(期待を上回る)
		C	普通(期待どおり)
C	劣っている(期待を下回る)	D	劣っている(期待を下回る)
D	特に劣っている(期待を大きく下回る)	E	特に劣っている(期待を大きく下回る)

### ④職員との意見交換会のテーマ設定の見直し

昨年度は職員との意見交換会のテーマを評価の際に提案された意見に基づいて設定したが、テーマが多く議論の深堀が時間的に困難な状況が見受けられたことから、テーマを2つ程度に絞り込んで議論を深めることを優先する。

【見直し前】



【見直し後】

